



浅草教会

「日々の暮らしから東京へ」

東京には現在、巡回教
会・集会所を含めると64
の教会がある。その中で
江戸時代の殉教の歴史を
持つのが浅草教会である。

今回、浅草教会を訪ね
たが、この地の近くで殉教
した27人の殉教記念碑が
教会の裏手に建てられてい
た。

徳川家康の貿易政策に
協力することを条件に江
戸での宣教を許されたフラ
ンシスコ会のヘスス神父は、
1599年に現在の日本
橋に聖堂と修道院を建て、
司牧にあたった。それらの
活動で江戸には3千人を
超す信徒が数えられた。

ほぼ同じ時代に殉教し
た原主水(はらもんど)は、
2008年に江戸の殉教
者として長崎で列福した
が、この浅草教会近くで
殉教した27人は全員列福
されていない。それほど多
くの人が殉教していること
の二つの証であると同時に、
はつきりした殉教の資料が
残されていないことの表れ
でもある。

しかし、二代将軍秀忠
は江戸城拡大を口実に突
然、聖堂と修道院を取り
壊す。新しい礼拝堂を建
築す。新しい礼拝堂を建
築す。新しい礼拝堂を建
築す。

今回、列福された原主
水ゆかりの静岡に立つ像は
見ることは出来なかった
が、調べているうちに原主
水を殉教させた徳川家康
が手に鷹(たか)を持つ
ブロンズ像が300円も
離れていないところに建っ
ているという。像を建て
れば良いというものではな
い。その歴史的背景を考
えるべきだと思っるのは私だ
けではあるまい。

しかし、二代将軍秀忠
は江戸城拡大を口実に突
然、聖堂と修道院を取り
壊す。新しい礼拝堂を建
築す。新しい礼拝堂を建
築す。新しい礼拝堂を建
築す。

862年、日仏修好通商
条約が結ばれ、禁教令が解
除された5年後の1878
年(明治10
年)に聖堂
が建てられ
40人が洗礼
を受けたと
いう。そし
て浅草教会
担当域内に
はすでに千
人を超える
信徒がいた
とされる。



浅草教会の裏手にある殉教記念碑



静岡教会に建つ原主水の像

展の裏には、
川祭とも
考えさせられる。

そこに現在の教会にはな
い迫力を感じる。どこに
原因があるのだろうか
と